

Cluster WebUI ヘルプ

全般

- 概要
- ツールバー
- タブ

ダッシュボード

- 概要
- サマリボックス
- アラートロググラフ
- アラートログテーブル

ステータス

- 概要
- クラスタ
- サーバ
- グループ
- モニタ

アラートログ

- 概要
- フィルタ
- テーブルのカスタマイズ
- アラート表示

ミラーディスク

- 概要
- アクション

設定モード

- 概要
- 編集エリア

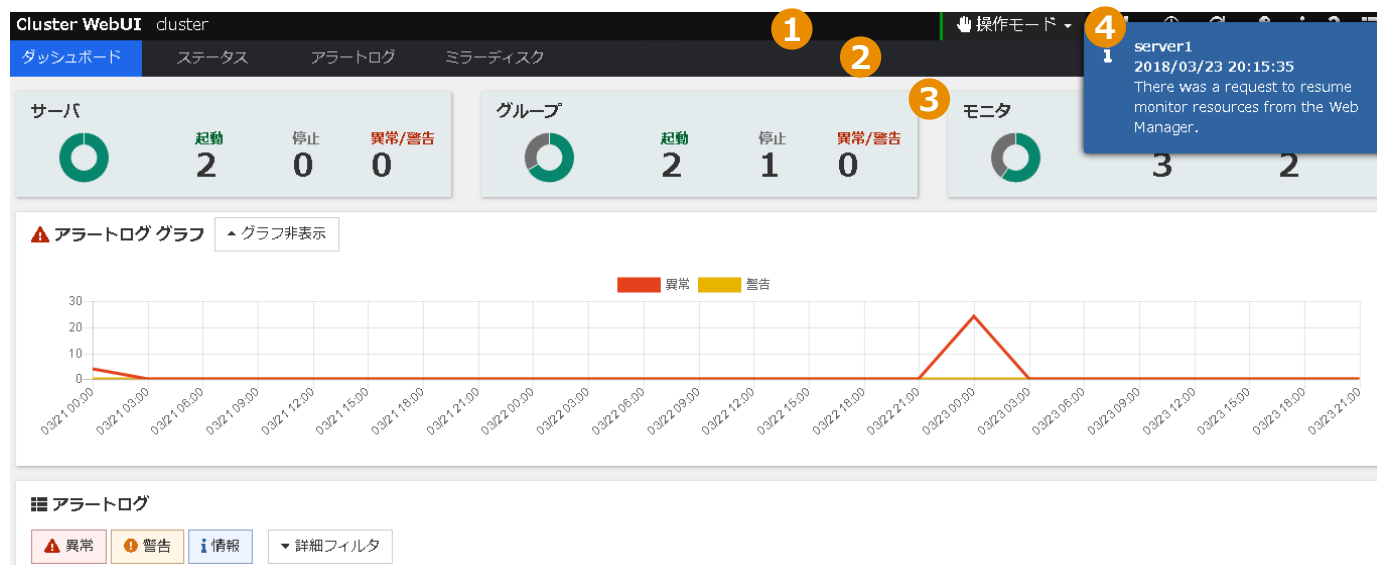
その他

- 注意制限事項

全般 概要

Cluster WebUIではクラスタとそのサーバ、グループ、リソース、モニタリソースを管理することが可能です。

Cluster WebUIのメイン画面は以下の通りです。



1. ツールバー

管理対象となるクラスタがツールバーの左側に表示されています。
ツールバー右側には現在のモード及び様々なアクションボタンが表示されています。
詳細はツールバーをご覧ください。

2. タブ

各ページ上部にあるタブを選択する事で別ページに移動する事が可能です。
選択中のタブは青色で表示されます。各ページに関する概要はタブをご覧ください。

3. メイン

現在選択中のタブがメインエリアに表示されます。

4. ポップアップアラート通知

新規アラートは画面右上部に表示されます。一度に表示されるアラートは最大最新の3件で、
その他アラートはダッシュボードのアラートログテーブルまたはアラートログページで閲覧可能です。
ポップアップとして表示されるアラートは種類別にフィルタすることが可能です。
詳細はツールバー - アラートログフィルタをご覧ください。



1. クラスタ名

管理対象となるクラスタ名です。

2. ユーザモード

現在選択中のユーザモードが表示されます。ユーザモードをクリックすることで別のモードへの切り替えメニューが表示されます。



選択可能なユーザモードは以下の通りです。

- **操作モード**
サーバやリソースの起動や停止など、管理と操作が可能です。
- **設定モード**
クラスタ構成の編集やインポート、エクスポート等が可能です。
詳細は、設定モードをご覧ください。
- **参照モード**
参照専用のモードとなるため参照のみ可能です。サーバやリソースの起動・停止操作は行えません。
- **検証モード**
操作モードと同様にステータスの確認や操作が可能です。加えて擬似障害を発生させて検証が可能です。

注意： クラスタのアカウント権限設定によってログインパスワードを求められたり、選択可能なモードが異なる場合があります。

3. クラスタログ収集

特定のサーバからログをダウンロードします。

クラスタログ収集 ボタンをクリックするとログ収集画面が表示されます。

左側のログ収集パターンを選択、右側から対象サーバを選択します。

実行 をクリックしログ収集を開始します。

クラスタログ収集

クラスタログを収集するサーバとパターンを選択してください

パターン

パターン1

デフォルト収集情報

イベントログ

Windows エラーレポート

ユーザダンプ

診断プログラムレポート

レジストリ

スクリプト

ESMPRO/AC、ESMPRO/UPSCのログ

HAログ

ミラー統計情報

クラスタ統計情報

サーバ

サーバリスト更新

全サーバ

server1

server2

実行

閉じる

注意： Internet Explorer 10、11ではログのダウンロード時にエラーになる場合があります。
詳細は、注意制限事項 - ログ収集、設定のエクスポートについてをご覧ください。

4. 時刻情報

サーバがクラスタに復帰したときや、異常を検知したときなどの時刻情報を表示します。

クリア ボタンで時刻情報のクリア、**更新** ボタンで対象サーバより最新情報の入手が可能です。

時刻情報

サーバグループ

モニター

	server1	server2
最終異常検出		
monitor1	2018/02/13 09:10:49.364 (EST)	2018/02/13 09:10:51.579 (EST)
monitor2	-	-
monitor3	2018/02/13 09:25:52.879 (EST)	2018/02/13 09:24:06.544 (EST)
monitor4	-	-
monitor5	2018/02/13 09:09:44.043 (EST)	2018/02/13 09:09:48.548 (EST)
monitor6	-	-

5. 最新情報取得

サーバから最新情報を取得します。

6. ライセンス情報

クラスタのライセンス情報を表示します。

7. アプリケーション情報

Cluster WebUIのバージョン情報を表示します。

8. ヘルプ

Cluster WebUIオンラインヘルプを表示します。

9. アラートログフィルタ

ポップアップ表示したいアラートをフィルタする事が可能です。

例：以下の画像の通り「異常」を選択している場合は「異常」アラートのみがポップアップとして表示されるようになり、「情報」や「警告」は表示されなくなります。



1. ダッシュボード

Cluster WebUIのメイン画面です。サーバ、グループ、モニタの概要やアラートログ情報が表示されます。

詳細はダッシュボードをご覧ください。

2. ステータス

クラスタサーバのグループ、リソース、モニタのステータスが表示されます。

操作モードや検証モードではサーバ、グループ、リソース、モニタの起動・停止が可能です。

検証モードでは擬似障害発生・解除が可能です。

詳細はステータスをご覧ください。

3. アラートログ

指定した件数分のアラートログが表示されます。表示件数の上限は 10,000件で、ソートやフィルタリングが可能です。

詳細はアラートログをご覧ください。

4. ミラーディスク

クラスタ内のミラーディスクの一覧を表示します。

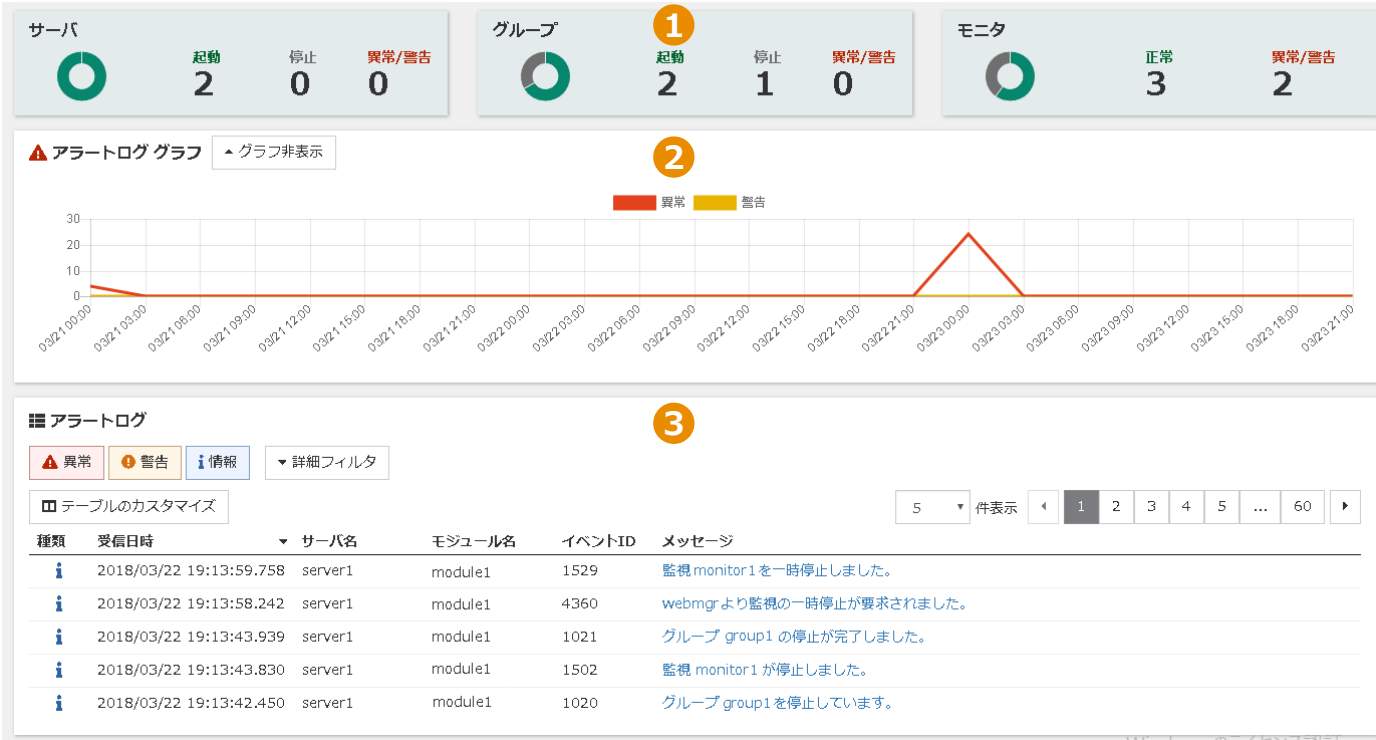
操作モードや検証モードではディスクコピーやアクセス制限の変更が可能です。

詳細はミラーディスクをご覧ください。

ダッシュボード

概要

ダッシュボード画面ではサーバ、グループ、モニタの概要やアラートログ情報を表示します。



1. サマリボックス

サマリボックスではサーバやグループ、モニタの概要を表示します。
詳細はサマリボックスをご覧ください。

2. アラートロググラフ

アラートロググラフは一定期間で発生したログの異常の件数を表示します。
詳細はアラートロググラフをご覧ください。

3. アラートログテーブル

最新300件のアラートログを表示します。
ログは種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントIDなどによりフィルタリングが可能です。
詳細はアラートログテーブルをご覧ください。

サマリボックス

クラスタ内のサーバ、グループ、モニタの概要を表示します。



1. 種類

アイテムの種類（サーバ、グループ、モニタ）やサマリを表示します。

2. ドーナツグラフ

サーバ、グループ、モニタの数を表示します。正常状態は緑、停止はグレー、異常・警告状態の場合は赤で表示します。

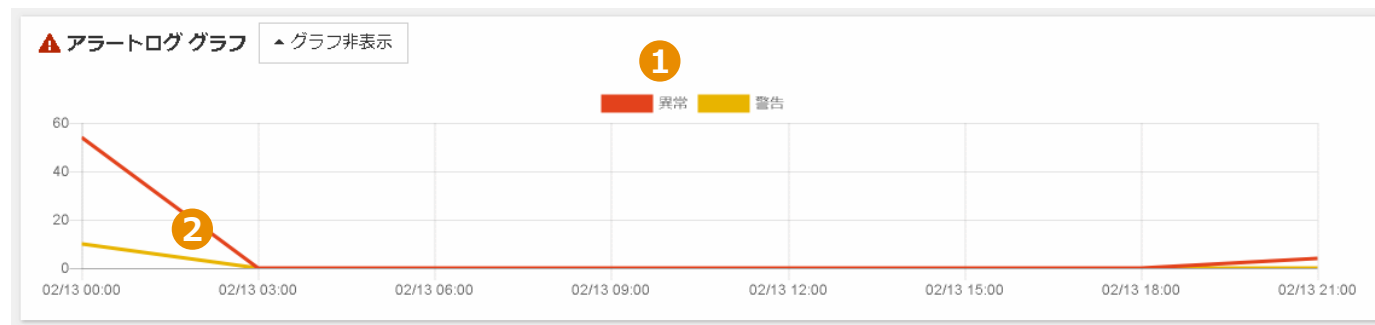
3. カウント

サーバ、グループ、モニタの数を、「起動（正常）」、「停止」または「異常／警告」の状態ごとに表示します。

ダッシュボード アラートロググラフ

一定期間の異常や警告が表示されます。

種類にかかわらず、最新の300件から構成されています。

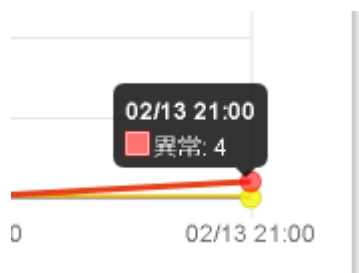


1. 表示アラートの選択

異常または警告をクリックする事でアラートログの表示・非表示の切り替えが可能です。

2. グラフ線

グラフ内の特定箇所をクリックする事で詳細が表示され、アラートログテーブル内部で該当ログを確認する事が可能です。



ダッシュボード アラートログテーブル

アラートログをテーブル形式で表示し、種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントIDでフィルタする事が可能です。

ダッシュボードのアラートログテーブルはアラートログと機能が同じです。

ダッシュボードページで確認可能なアラートは最新の300件のみであるのに対し、アラートログページでは特定の期間を指定する事が可能です。

アラートログ

異常

警告

情報

▼ 詳細フィルタ

テーブルのカスタマイズ

5 件表示 1 2 3 4 5 ... 60

種類	受信日時	発生日時	▼ サーバ名	モジュール名	イベントID	メッセージ
i	2018/02/13 23:53:49.662	2018/02/13 23:53:48.871	server1	module1	1529	監視 monitor1 を一時停止しました。
i	2018/02/13 23:53:49.647	2018/02/13 23:53:47.074	server1	module2	4360	webmgr(IP=) より監視の一時停止が要求されました。
i	2018/02/13 23:52:54.209	2018/02/13 23:52:54.090	server1	module1	1530	監視 monitor2 を再開しました。
i	2018/02/13 23:52:54.193	2018/02/13 23:52:53.980	server1	module2	4361	webmgr(IP=) より監視の再開が要求されました。
i	2018/02/13 23:50:09.849	2018/02/13 23:50:09.590	server1	module1	1529	監視 monitor2 を一時停止しました。

1. フィルタ

アラートログテーブルのフィルタの詳細に関しては、フィルタをご覧ください。

2. テーブルのカスタマイズ

アラートログテーブルのカスタマイズの詳細に関しては、テーブルのカスタマイズをご覧ください。

3. アラートログ

アラートログの詳細が表示されます。メッセージを選択する事でログ内の詳細がフルテキストで表示されます。

詳細に関しては、アラート表示をご覧ください。

概要

クラスタ内のサーバ、グループ、リソース、モニタを表示します。

操作モード及び検証モードでは、サーバ、グループ、リソース、モニタの起動・停止が可能です。

検証モードでは、動作検証用の疑似障害を生成することも可能です。

✔ クラスタは正常に動作しています。 1			
▼ cluster 2			
■ サーバ	サーバグループリスト	server1	server2
▼ サーバ		起動済	起動済
■ グループ			
▼ group1		停止済	異常
▼ group2		停止済 3	起動済
🔍 モニタ	▶		
▼ monitor1		停止済	停止済
▼ monitor2		停止済	異常

1. クラスタステータス

クラスタ全体の状態が表示されます。

2. クラスタ名

クラスタ名が表示されます。クラスタ名を選択する事で再起動や詳細情報表示などのアクションリストが表示されます。

詳細はクラスタをご覧ください。

3. ステータステーブル

サーバ、グループ、モニタの状態が表示されます。個別のグループやリソースに対し、開始や停止などのアクションを実行することもできます。

画面表示はブラウザのサイズにより自動調整されます。

また、構成されているサーバ台数が4台以上の場合、手動で表示するサーバを「ページ毎のサーバ数」より選択する事が可能です。

サーバステータスとアクションに関する詳細は、サーバをご覧ください。

グループステータスとアクションに関する詳細は、グループをご覧ください。

モニタステータスとアクションに関する詳細は、モニタをご覧ください。

クラスタ



1. クラスタ名

クラスタ名をクリックする事でクラスタアクションの表示・非表示が切り替ります。

2. クラスタアクション

クラスタシャットダウン

クラスタ配下の全サーバをシャットダウンします。

クラスタリブート

クラスタ配下の全サーバを再起動します。

クラスタサスペンド

クラスタサービスをサスペンドし、休止状態にします。

クラスタリジューム

クラスタサービスをリジュームし、休止状態より復帰します。

クラスタ開始

クラスタサービスを起動します。

クラスタ停止

クラスタサービスを停止します。

マネージャ再起動

クラスタマネージャを再起動します。

クラスタ詳細情報

クラスタの詳細情報を表示します。

サーバ	サーバグループリスト 1	server1	server2
サーバ 2		起動済 3	起動済
heartbeat1 4		正常 5	正常
heartbeat2		正常	正常


1. サーバグループリスト


クリックによりサーバグループリストの一覧を別画面にて表示します。


2. サーバ


クリックによりサーバアクションとリソースを表示・非表示します。


3. サーバアクション


 **サーバシャットダウン**
サーバをシャットダウンします。


 **サーバリブート**
サーバを再起動します。

 **サーバ復帰**
サーバを異常停止状態から復帰します。

 **サーバ詳細情報**
サーバ詳細設定を表示します。

 **サーバサービス開始**
サーバサービスを開始します。

 **サーバサービス停止**
サーバサービスを停止します。

 **CPU クロック制御**
CPU周波数（高周波数、低周波数、自動）を設定します。

4. サーバリソース

各リソース名のクリックにより、**サーバリソース詳細プロパティ** メニューを表示・非表示します。

5. サーバリソース詳細情報

サーバリソースの詳細情報を表示します。

ステータス グループ

■ グループ 排除ルールリスト 1		
▲ group1 2 ⚙	起動済 ■ ▶ ⇨ ⇩ 3	停止済 ■ ▶ ⇨ ⇩
▲ resource1 4 ⚙	起動済 ■ ▶ 5	停止済 ■ ▶
▼ resource2	起動済	停止済

1. 排除ルールリスト

クリックにより、排除ルール、属性、及びグループの一覧を表示します。

2. グループ

グループ名をクリックする事でグループアクションとグループリソースを表示・非表示します。

⚙ グループ詳細情報

グループの詳細情報を表示します。

3. グループアクション

■ グループ停止

グループを停止します。

▶ グループ起動

グループを起動します。

⇨ グループ移動

サーバ間でグループを移動します。

⇩ グループマイグレーション

サーバ間でグループをマイグレーションします。

4. グループリソース

各グループリソース名のクリックにより、グループリソースアクションを表示・非表示します。

⚙ グループリソース詳細情報

グループリソースの詳細情報を表示します。

5. グループリソースアクション

■ リソース停止

リソースを停止します。

▶ リソース起動

リソースを起動します。

ステータス モニタ



1. 全モニタアクション

アクションボタンのクリックにより、別画面にてサーバー一覧が表示されます。当該の画面上にてアクションを適用するサーバを任意に選択し実行します。

|| 監視一時停止

任意のサーバ上で全てのモニタをサスペンド(休止状態)にします。

▶ 監視再開 (全てのモニタ)

任意のサーバ上で全てのモニタをサスペンド状態よりリジューム(復帰)します。

⚠ 擬似障害解除 (検証モードのみ)

該当サーバの全ての擬似障害を解除します。

2. モニタ

各モニタ名のクリックにより、モニタアクションを表示・非表示します。

⚙ モニタ詳細情報

モニタの詳細情報を表示します。

3. モニタアクション

|| モニター一時停止

モニタ監視を一時停止します。

▶ モニタ再開

モニタ監視を再開します。

⚠ 擬似障害発生 (検証モードのみ)

該当サーバのモニタの擬似障害を発生します。

⚠ 擬似障害解除 (検証モードのみ)

該当サーバのモニタの擬似障害を解除します。

アラートログ 概要

アラートログをテーブル形式で表示し、種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントIDでフィルタする事が可能です。
アラートログは任意の件数を指定して取得することが可能です。

アラートログ件数

取得

例として1,000と入力した場合は最新のログ1,000件を収集しログテーブル上に表示します。
収集可能なアラートログの最大件数は10,000件です。

アラートログ

1

異常

警告

情報

▼ 詳細フィルタ

2

5

件表示

1

2

3

4

5

...

60

種類	受信日時	発生日時	サーバ名	モジュール名	イベントID	メッセージ
i	2018/02/13 23:53:49.662	2018/02/13 23:53:48.871	server1	module1	1529	監視 monitor1 を一時停止しました。
i	2018/02/13 23:53:49.647	2018/02/13 23:53:47.074	server1	module2	4360	webmgr(IP=1.1.1.1) より監視の一時停止が要求されました。
i	2018/02/13 23:52:54.209	2018/02/13 23:52:54.090	server1	module1	1530	監視 monitor2 を再開しました。
i	2018/02/13 23:52:54.193	2018/02/13 23:52:53.980	server1	module2	4361	webmgr(IP=1.1.1.1) より監視の再開が要求されました。
i	2018/02/13 23:50:09.849	2018/02/13 23:50:09.590	server1	module1	1529	監視 monitor2 を一時停止しました。

1. フィルタ
- フィルタ機能を使うことで種類、発生日時、サーバ名、モジュール名又はイベントIDでフィルタする事が可能です。
詳細につきましては、フィルタをご覧ください。
2. テーブルのカスタマイズ
- アラートログテーブル項目の表示・非表示の切り替えが可能です。
詳細につきましては、テーブルのカスタマイズをご覧ください。
3. アラートログ
- 任意のログのメッセージを選択し、内容をフルテキストで表示することが可能です。
詳細につきましては、アラート表示をご覧ください。

アラートログ フィルタ

フィルタ部分ではログ表示を種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントIDでソートする事が可能です。

The screenshot shows the 'Alert Log Filter' interface. At the top, there are four buttons: '異常' (Abnormal) with a red triangle icon, '警告' (Warning) with an orange exclamation mark icon, '情報' (Information) with a blue 'i' icon, and '詳細フィルタ' (Detailed Filter) with a blue triangle icon. Below these buttons are five input fields: '発生日時' (Event Date/Time) with a range selector '~', 'サーバ名' (Server Name), 'モジュール名' (Module Name), and 'イベントID' (Event ID). Each input field has a numbered callout: 1 for the filter buttons, 2 for the '詳細フィルタ' button, 3 for the '発生日時' range selector, 4 for the 'サーバ名' field, 5 for the 'モジュール名' field, and 6 for the 'イベントID' field.

1. ログ種類フィルタ

ログの種類（異常、警告、情報）を選択し、該当ログの表示・非表示を切り替える事が可能です。

2. 詳細フィルタ

クリックによりフィルタ部分（発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントID）の表示・非表示を切り替える事が可能です。

3. 発生日時フィルタ

左側のボックスに開始日、右側のボックスに終了日をそれぞれ入力する事で、アラートログの表示期間を指定できます。

開始日のみを入力した場合、指定した開始日から現在までのログを表示します。

終了日のみを入力した場合、その時点で存在する最も古いログから指定した終了日までのログを表示します。

4. サーバ名フィルタ

入力したホスト名と一部一致、もしくは完全一致するサーバのログのみを表示します。

5. モジュール名フィルタ

入力したモジュール名と一部一致、もしくは完全一致するモジュールのログのみを表示します。

6. イベントIDフィルタ

入力したイベントIDと一部一致、もしくは完全一致するイベントのログのみを表示します。

テーブルのカスタマイズ

アラートログテーブルの項目の表示・非表示を設定する事が可能です。

☐ テーブルのカスタマイズ

表示項目

☒ 種類

☐ 受信日時

☒ 発生日時

☒ サーバ名

☒ モジュール名

☐ イベントID

☒ メッセージ

閉じる

項目をクリックする事で表示・非表示が選択可能です。

テーブルのカスタマイズは保存され、次回アラートログを表示する際にも引き継がれます。

アラートログ アラート表示

アラートログ内部のメッセージを選択する事でログ詳細を表示します。

アラートログ

種類

受信日時

発生日時

サーバ名

モジュール名

イベントID

メッセージ

情報

2018/02/14 01:19:01.489

2018/02/14 01:19:00.062

server1

module1

1529

監視 monitor1 を一時停止しました。

1

↑ 次

↓ 前

閉じる

1. 次・前 ボタン

次ボタンでテーブル内に存在するひとつ新しいログ、前ボタンでひとつ古いログをそれぞれ表示します。
キーボードの ↑ ↓ キーでも次・前ボタンと同様の操作が行えます。

ミラーディスク 概要

ミラーディスクリストではクラスタ内のミラーディスクの一覧を表示します。
操作モードや検証モードではフルコピーや差分コピー、ミラー復帰などのアクションが実行可能です。

1			2			3		
ミラーディスクリスト			サーバ名	アクティブ	ステータス	サーバ名	アクティブ	ステータス
ミラーディスク名	同期モード	差分コピー						
▼ md1	同期	--	server1	非活性状態	正常	server2	非活性状態	正常
▼ md2	同期	--	server1	非活性状態	正常	server2	非活性状態	正常

1. ミラーディスク情報

ミラーディスクの詳細です。

- **ミラーディスク名**
ミラーディスクの名称です。ミラーディスク名を選択する事でアクションボタンが表示され、アクションを実施する事が可能です。
詳細につきましては、アクションをご覧ください。
- **同期モード**
ミラーディスクに設定されている同期モードを表示します。
- **差分コピー**
ミラーディスクに対して差分コピーが実行可能かを表示します。

2. サーバ情報（1台目）

サーバ1のミラーディスクステータスを表示します。

- **サーバ名**
サーバのホスト名です。
- **アクティブ**
サーバのアクティブステータスを表示します。
- **ステータス**
ミラー化されたディスクのステータスを表示します。

3. サーバ情報（2台目）

サーバ2のミラーディスクステータスを表示します。

ミラーディスク アクション

ミラーディスク名を選択する事で、実行可能なアクションの表示・非表示を切り替えます。
操作モードと検証モード以外ではミラーディスク詳細情報の閲覧のみ可能です。

ミラーディスクリスト

ミラーディスク名	同期モード	差分コピー	サーバ名	アクティブ	ステータス	サーバ名	アクティブ	ステータス
md1	同期	可能	server1	非活性状態	正常	server2	非活性状態	異常
md2	同期	--	server1	非活性状態	正常	server2	非活性状態	正常

1. ミラーディスク詳細情報

詳細情報

ミラーディスクの詳細情報を表示します。

2. ミラーディスクアクション

サーバ名下部のアクションボタンを選択する事でアクションを指定します。
サーバ名下部のアクションボタンを選択する事で、特定のアクションを実行できます。

ミラー復帰

ミラーディスクの復帰を行います。

差分コピー

差分コピーを実施します。

フルコピー

全体コピーを実施します。

ミラーブレイク

ミラーブレイクを実施します。

アクセス制限

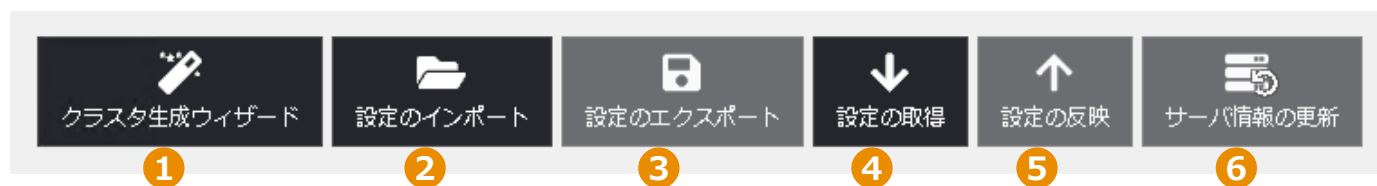
該当サーバのミラーディスクに対してアクセス制限をかけます。

アクセス制限解除

該当サーバのミラーディスクに対するアクセス制限を解除します。

概要

設定モードでは、クラスタ構成の編集、インポート、エクスポート等が可能です。



1. クラスタ生成ウィザード

ウィザード形式でクラスタの新規作成を行えます。

2. 設定のインポート

ローカルフォルダからクラスタの設定ファイルのインポートが行えます。

旧バージョンで保存したクラスタ構成情報やclpcfctrlコマンドでバックアップしたクラスタ構成情報をインポートする場合、事前にzip形式で圧縮しておく必要があります。

zipファイルを展開するとclp.confファイルとscriptsディレクトリが解凍されるよう配置してください。

3. 設定のエクスポート

ローカルフォルダにクラスタの設定ファイルのエクスポートが行えます。

エクスポートしたクラスタ構成情報を clpcfctrl コマンドの -x オプションに指定する場合、事前に解凍しておく必要があります。

注意： Internet Explorer 10、11では設定ファイルのダウンロード時にエラーになる場合があります。

詳細は、[注意制限事項 - ログ収集、設定のエクスポートについて](#)をご覧ください。

4. 設定の取得

クラスタサーバからクラスタの設定を取得できます。

5. 設定の反映

クラスタサーバに編集したクラスタの設定を反映できます。

6. サーバ情報の更新

クラスタを構成する各サーバの情報を更新できます。

設定モード 編集エリア

編集エリアでクラスタの構成が編集できます。

The screenshot displays a management interface with a top navigation bar and a main content area. The navigation bar contains five buttons: '設定のインポート' (Import Settings), '設定のエクスポート' (Export Settings), '設定の取得' (Get Settings), '設定の反映' (Apply Settings), and 'サーバ情報の更新' (Update Server Information). The main content area is organized into sections: 'cluster', 'サーバ' (Servers), 'グループ' (Groups), and 'モニタ' (Monitors). Each section has a list of items with associated edit, add, and delete icons. Numbered callouts indicate the following actions:

- 1: Edit cluster settings (gear icon).
- 2: Add a new server (plus icon).
- 3: Edit server1 settings (gear icon).
- 4: Add a new group (plus icon).
- 5: Edit failoverA settings (gear icon).
- 6: Edit fip1 settings (gear icon).
- 7: Add a new monitor (plus icon).
- 8: Delete fipw1 (trash icon).

1. クラスタ

プロパティ編集

クラスタプロパティの編集を行えます。

名称変更

クラスタ名称の変更を行えます。

削除

クラスタの削除を行えます。

2. サーバ

プロパティ編集

サーバ共通のプロパティの編集を行えます。

追加

サーバの追加を行えます。

3. 各サーバ

プロパティ編集

サーバプロパティの編集を行えます。



名称変更

サーバ名称の変更を行えます。



削除

サーバの削除を行えます。

4. グループ



プロパティ編集

グループ共通のプロパティの編集を行えます。



追加

グループの追加を行えます。

5. 各グループ



プロパティ編集

グループプロパティの編集を行えます。



名称変更

グループ名称の変更を行えます。



追加

グループリソースの追加を行えます。



削除

グループの削除を行えます。

6. グループリソース



プロパティ編集

グループリソースプロパティの編集を行えます。



名称変更

グループリソース名称の変更を行えます。



削除

グループリソースの削除を行えます。

7. モニタ



追加

モニタリソースの追加を行えます。

8. モニタリソース



プロパティ編集

モニタリソースプロパティの編集を行えます。



名称変更

モニタリソース名称の変更を行えます。



削除

モニタリソースの削除を行えます。

その他

注意制限事項

1. 状態表示について 1

Cluster WebUIで表示される内容は必ずしも最新の状態を示しているわけではありません。
最新の情報を取得したい場合、[最新情報を取得] を選択して最新の情報を取得してください。

2. 状態表示について 2

Cluster WebUIが情報を取得中にサーバダウン等発生すると、情報の取得に失敗し、
一部オブジェクトが正しく表示できない場合があります。
次回の自動更新まで待つか、[最新情報を取得] を選択して最新の情報を再取得してください。

3. ログ収集の同時実行について

CLUSTERPRO のログ収集は複数のCluster WebUIから同時に実行することはできません。

4. ログ収集、設定のエクスポートについて

Internet Explorer 10、11ではクラスタログ収集、設定のエクスポート時にエラーになる場合があります。

その際は、インターネットオプションの[セキュリティ]->[インターネット]->[レベルのカスタマイズ]->[ダウンロード]->[ファイルのダウンロード]を"無効にする"から"有効にする"にしてください。